

膜構造ジャーナル 論文執筆要領・テンプレート
サブタイトル

著者氏名 1 *1
著者氏名 2 *2
著者氏名 3 *3

[illegible]

1. はじめに

論文作成にあたっては、このテンプレートに記載の要領で作成をお願いします。見本として入力されている文字の間に文字を入力して、入力後に不要文字を削除すると組体裁がそのまま残ります。先に削除すると書式設定がなくなることがあります。

本文の書体「和文：MS 明朝、章節の表題はMS ゴシック／英文：Century（または Times New Roman）、章節の表題は Arial」、文字の大きさ 10pt、2 段組み、1 行 27 字、段間 2 字(6mm)、行間 14pt、50 行、1 頁(27 文字×50 行×2 段＝2,700 字詰)、余白 上 20mm 下 30mm 左右 15mm。

論文の総ページ数は10ページ以内としてください。

2. タイトル・著者名・要旨について

本文が和文の場合は和文タイトル、本文が英文の場合は英文タイトルを記載してください。著者名、要旨も同様です。

タイトル 14pt MS 明朝 英数は Century (または Times New Roman) 英文の場合はすべて大文字／サブタイトル 10.5pt MS 明朝 英数は Century (または Times New Roman) 中央揃え。英文の場合は最初の 1 語のみ大文字としてください。

和文著者名 10.5pt MS 明朝 *(合い印)は全角*を上
付きにしてください。

英文著者名 (Namae MYOUZI) 10.5pt Century (または Times New Roman)

要旨(Abstract) 論文の内容の主要な点を 300 字以内に簡潔にまとめ、本文の前に付けてください。10pt 行間 1 行 (14pt 相当) , 左右インデント 各 4 字。

3. 見出し

見出しには章番号を付けて 10pt, 和文は MS ゴシック, 英文は Arial で記載してください。見出しの前は本文との間を 1 行空けてください。

4. 既発表の内容の扱い

他のジャーナルや学会誌、国際会議の **Proceeding** 等で発表された論文等を、本ジャーナルにも掲載を希望される場合は、その旨が分かるよう序章、参考文献に記述を必ず入れるとともに、本ジャーナルへの投稿にあたり行った変更点を明記してください。この場合、著作権の手続き等は著者の責任で行ってください。

5. 連続する応募の扱い

共通する主題のもとに連続する数編を執筆する場合、サブタイトルとして、その1、その2などを付してください。連続した数編を応募する場合には、前の編の査読終了後、続編が受理されます。

6. 所属機関・学位

論文の発表者全員の所属機関，職位，学位（和文名）を第1ページの脚注に記載してください。脚注は Word の「脚注」機能を使わずに表を使用して，罫なしで作成してください。本文が和文の場合は和文，本文が英文の場合は英文で記載してください。9pts，和文は MS 明朝，英文は Century（または Times New Roman）で記載してください。

*1 ○○大学工学部建筑学科 教授・工博

*2 ○○大学工学部建築学科 大学院生・学士（工学）

*3 □□建設株式会社

7. 図・表・写真

図・表・写真には、内容を明確に表す表題を必ず付けてください。表題には、図・表・写真ごとに通し番号を付けてください。この時、章ごとに分けて図1、図2…、表1、表2、…、写真1、写真2、…、Fig.1、Fig.2、…、Table1、Table2、…、Photo.1、Photo.2、…、などと記入してください。

表題記入位置は、図・写真の場合その直下、表の場合はその直上とし、中央揃えにしてください。

本文と表の間、本文と図の間、本文と写真の間は1行空けてください。

8. 数式

数式には、(1),(2),(3)など通し番号を付けてください。

表1 ○○○○○○○○○○○○○○○○

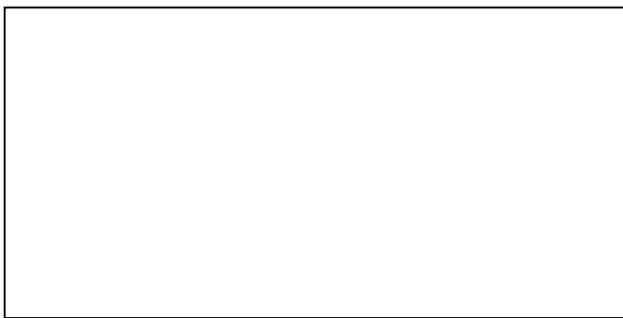


図1 ○○○○○○○○○○○○○○○○



写真1 ○○○○○○○○○○○○○○○○

参考文献（英語論文の場合：REFERENCES）

- 1) 参考文献表題は 9pt, 和文は MS ゴシック, 英文は Arial, 本文と参考文献表題の間は 1 行空けてください。
 - 2) 参考文献は 9pt, 和文は MS 明朝, 英文は Century (または Times New Roman), 行間 9pt, 複数行は 1 字下げてください。番号は片カッコ付きで数字は半角にしてください。
- (1) 注および参考文献は、本文の後にそれぞれを使用順に番

号を付け、まとめて掲載してください。

(2) 注および参考文献の番号は、本文中の引用箇所には肩付き文字¹⁾²⁾のように明記してください。

(3) 参考文献の記載方法は以下の通りとします。

- a. 論文等の場合「著者名：表題, 誌名, Vol, No. , 掲載ページ, 発行年月」の順とする。区切りのカンマ (,) は半角としその後に半角スペースを入れる。
- b. 単行本の場合「著(編) 者名：書名, 発行所名, 発行年」の順とする。
- c. 著者名は必ず姓で記す。著者が多い場合には、筆頭者以外は「ほか○名」で省略することもできる。
- d. 欧文の場合には、筆頭者は姓を先に記す。また、連名者は「et al.」で省略することもできる。
- e. 発行年月日は、原則として西暦で「1995.1」「1995.2」のように記す。

(4) 一般に公表されていない文献、たとえば未発表の論文、簡易印刷（コピーしたものなど）の委員会報告や社内報告および私信などは、文献として扱わない。必要とあれば注とし、引用箇所に肩つき文字^{注1), 注2)}のように明記する。

(5) 図・表・写真などの引用・転載にあたっては、著者自身が原著者などの著作権所有者の許可をとらなければならない。

(6) 記載例

参考文献

- 1) 佐藤武夫, 川島定雄, 三木 韶: 音響透過に関する実験 (第 3 報) 材料に対する音の投射角と遮音効果, 建築学会論文集大会号, 第 1 号, pp.210~217, 1936.3
- 2) 中村達太郎: 日本建築語彙 丸善 1906, 新增補版 1956
- 3) Lucio, J.E. and Westmann, R.A.: Dynamic Response of Circular Footings, Journal of the Engineering Mechanics, ASCE, Vol.97, pp.1381-1395, 1971.4

注（英語論文の場合：NOTES）

注1) 注表題は 9pt MS ゴシック(英文は Arial) 上 1 行アキ
注2) 注の文字の大きさは 9pt MS 明朝(英文は Century (または Times New Roman)) 行間 9pt 複数行は 1 字下げてください。番号は片カッコ付きで数字は半角にしてください。

9. 英文要約または和文要約について

本文が和文の場合は英文要約 (600 単語以内), 本文が英文の場合は和文要約 (3,000 字以内) を論文の末尾に付ける。要約中には図表を挿入せず, 本文図表の参照引用にとどめる。

TITLE

Sub title

Name 1 ^{*1}

Name 2 ^{*2}

Name 3 ^{*3}

Summary

^{*1} Professor, Dept. of Architecture, Faculty of Engineering, ○○ University, Dr.Eng.

^{*2} Graduate Student, Dept. of Architecture, Faculty of Engineering, ○○ University, B.Eng.

^{*3} □□ Co., Ltd., Dr. Sc.